

どの子どもも輝き
笑顔いっぱい
とねがわ幼稚園

とね幼だより

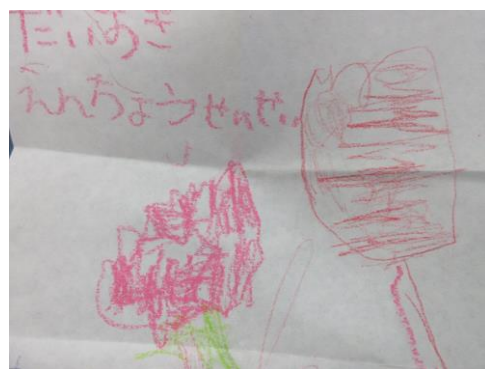
よい頭・よい眼・強い体



子どもたちと笑顔で再会できることに感謝

園長 笛木 哲

芝生の緑が日に日に濃くなっています。わんぱく山のクローバーは見たこともないくらい背丈が伸びました。砂場に新しい砂が入り富士山ができました。子どもたちの成長に目を細めることも、子どもたちと一緒に笑い転げることもない淡々とした毎日が、ようやく終わります。楽しみにしていた行事など失ったコトはたくさんあるけれど、全員元気に再会できることが何より嬉しく思います。失った日々と、これから始まる日々を天秤にかけることはできません。過去と比べるのではなく、本年度ならではの一年(10ヶ月)を子どもたちと保護者の皆様、職員が協力し合って創っていきたいと思います。主人公はコロナウイルスではなく、198名の笑顔いっぱいの子もたちです。今日から、令和2年度の保育がスタートします。



去年の4月 園児からの手紙

6月の保育について

臨時休園期間中、親御さんからの愛情を一身に受けて過ごしてきた子どもたちは、きっと不安やストレスをたくさん抱えて登園してくることでしょう。とねがわ幼稚園では、今日まで辛抱強く我慢を重ねてきた子どもたちの『心と体の解放』を一番の目標に保育を進めてまいります。

あるお母さんから「幼稚園を信じて子どもを送り出します。」というお言葉をいただきました。私たちは『分散登園期間におけるコロナ対策対応マニュアル』を作成し、3密の防止、手洗いの徹底を中心に感染防止に全力を尽くしてまいります。

一方で、保育は教師から園児への対面指導、あるいは園児同士の関わり合いなどを通じて行うものです。そのため近い距離(濃密な接触を伴う)での活動も自然発生します。時には、激しく泣き叫ぶ子を抱っこしてあやすのも保育者の務めです。そういう意味で『保育』は、3密とならないことが求められる『コロナ対策』の対極にある行為です。相反することの両立は難しいことですが、私たちは感染防止対策を確実に行った上で、子どもの発達段階に寄り添った共感的な保育(保育者が意図的に手をつながせたりすることはしないが、子ども自らが求めて友だちと手をつなぐ行為を「ダメ」と否定しない教育)を進めて参ります。保護者の皆様にも「健康観察カード」の提出や風邪症状での自宅待機、預かり保育に来園する大人の体温測定の義務づけ等、厳しい措置をとらせていただいています。ご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。

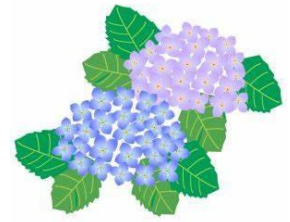
◆◆◆園からの掲示板◆◆◆

■職員の異動のお知らせ

新入職員 権田陽子（年長担当）

担当変更 ちゅうりっぷ組担任：永井明子

こぐまサークル担当：新井江里香（ひよこ組担任）



■プレゼントの持ち帰りについて

- ・園児が持ち帰ったプレゼントは、6月13日(土)の保育参観(ファミリーデー)の際、園児が保護者の皆さんにプレゼントするために用意したのですが、保育参観を中止としました。そこでお子さんと一緒に絵を描いたりことばを添えたりして、ご家族の絆の一つの証としてご利用ください。子どもたちには、お家の人と一緒に作ること、お家の人に感謝の気持ちを伝えることを指導します（年少児は、家まで覚えていることが難しいかもしれませんが）。お子さんが「ありがとう」と言ったら（言えなくても）、最上級の愛をこめてハグしてあげてください。

年少【ウエットティッシュかば〜】年中【車用ティッシュホルダー】年長【えだまめくん栽培セット】

■6月の体操について

- ・「体操の先生と遊ぼう」は自由保育の時間、体操の先生と一緒に遊ぶことを通して体力を取り戻します。「体操」は年少(各クラス 10分)、年中長(各クラス 20分)と全クラスが行います。

■卒園関係について（年長児保護者様）

- ・卒園アルバムを作成します。また「卒園準備委員」に多くの方が手を上げてくださいました。ありがとうございます。後日話し合いで決めさせていただきます。

■「すくすく」が学期一回になったことについて

- ・「先生が楽をするためですか？」と率直なご意見をお聞きしました。そう思われても当然です。内実は、私が先生方に Stop を掛けました。保護者の皆様は毎月届く「すくすく」を当たり前の存在とお考えでしょうが、これほど丁寧に園児の姿をお知らせしている幼稚園は少ないのです（これはこれで本園の特色として、胸を張れる部分でもありました）。職員は「すくすく」を書き上げると園長の机に置きます。そして、たいていの場合「すくすく」は休み明けの月曜日か連休明けに机の上に重ねられます。つまり自宅に持ち帰りの仕事になっていることが明白でした。負担を一切口にしない担任の姿を2年間見てきました。「すくすく」の大切さと、一方で担任の負担を考えると、「すくすく」に頼らなくても保護者の皆様に子どもの輝く姿を伝えられると判断しました。遠慮せずに直接担任にお聞きください。私も園児について語ります。

日直が私に提出する日誌に付箋が挟まっています。付箋を「書いた日」に貼ったままの職員と「次の日」に移動して張り直す職員がいます。「書いた日」に貼っておいた方が園長は印を押しやすいだろうと考える職員。「次の日」に張り直しておけば園長が付箋を貼り直す必要が無いだろうと考える職員。そのどちらも相手を思いやりの行動ですが、現れる姿は全く別です。コロナウイルスに対する心理的な不安も人それぞれです。命に関わるコトなので、付箋と同様ではありませんが、不安の少ない方は不安の大きな方への配慮をし、不安の大きな方は不安の少ない方への理解をするといった、相手の気持ちへの想像力を忘れないようにしたいと思います。